



けやきっ子

六栄小学校だより

第16号

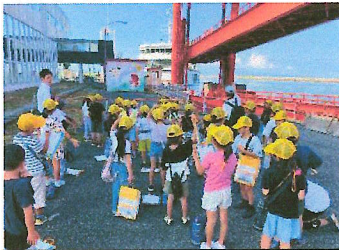
令和6年9月19日

文責：久保田 真二

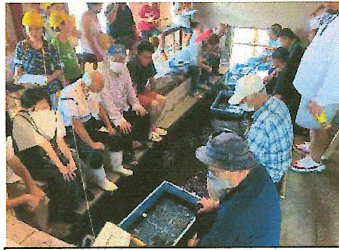
学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

地域学校協働活動推進員を紹介します！

地域学校協働活動推進員をご存知でしょうか。地域学校協働活動推進員とは、地域と学校をつなぐコーディネーターであり、学校のニーズとボランティアの思いを受けて活動をつくり、調整をする役割を担う方のことです。六栄小学校では、堀本美由紀様が地域学校協働活動推進員として活動していただいています。これまでに、4年生の町の浄化センター見学、2年生の長洲港フェリー見学、3年生の金魚・鯉の競り見学、6年生の長洲町議会見学、長洲町婦人会の方に来校していただき6年生のミシン学習のお手伝い等をコーディネートしていただきました。地域学校協働活動により、子どもたちは長洲町の良さを実感したり、新たな発見をしたりしながら、学びを深めることができます。これからも、六栄小学校の子どもたちのためによりしく願います。



2年生長洲港フェリー見学



3年生金魚鯉の競り見学



6年生長洲町議会見学



6年生家庭科ミシン学習

六栄小学校との繋がり・大先輩先生の来校

9月10日(火)の夕方、本校に大先輩先生が来校されました。大先輩先生のお名前は古川幸子先生で、昭和35年から昭和45年まで六栄小学校で勤務されていたそうです。今から64年前から54年前のことになり、おいちゃんやおばあちゃんの中には、古川先生と一緒に勉強した人もいるかもしれません。

実は、古川先生が六栄小学校に来校されたのは、あるきっかけがあったからでした。今年7月19日に5年生が水俣に学ぶ肥後っ子教室で水俣病資料館に行ったとき、六栄小学校の5年生児童が水俣病資料館来館者120万人目にあたりニュースに出たことがありました。

このことをきっかけに、六栄小学校のことを懐かしく思われて遊びに来られたのです。校長室で、六栄小学校の当時の校舎や受け持たれた児童との思い出を楽しくお話してもらいました。古川先生と当時の児童との心温まるエピソードを聞くことができ心がほんわかとなりました。

ところで、六栄小学校の5年生が水俣病資料館来館者120万人目になったこともすごい偶然ですが、そのニュースをきっかけに古川先生が六栄小学校に来てくださったことも本当にすごいことだなと思いました。六栄小学校のことを忘れずに遊びに来てくれた古川先生、本当に素敵な先生です。古川先生のお陰で、また六栄小学校の素晴らしさに気づき、六栄小学校のことを更に好きになりました。



自由研究頑張りました～理科や算数って面白いよ～

今年は激暑の夏休みでしたが、そんな中でも理科の自由研究に13名の児童が取り組んでくれました。3年生が2名、4年生が3名、5年生が3名、6年生が5名でした。先日、長洲中学校で審査が行われたのですが、頑張りが認められ全員が「入選」か「佳作」になりました。最近、算数や理科を苦手とする子どもたちが多くなっている傾向がありますが、自由研究をきっかけに算数や理科を好きになってくれたらいいと思います。これからも「不思議だな」「どうしてだろう」と思うことは、自分から進んで調べられるようになるといいですね。



「ゴミを拾ってきました。」と、登校時にゴミ拾いをしてきた児童がいました。ゴミを見ると、コンビニの袋に弁当のカラ、つぶれたペットボトル、たばこの吸い殻の入った空き缶などがありました。ゴミを進んで捨てる子どもたちには感心しますが、ゴミのポイ捨てがなければいいのと思います。ゴミのポイ捨てがなくなりますよう、地域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

3連休は交通事故に気を付けて過ごしましょう。